

第2回平塚市地域公共交通活性化協議会

- 1 日時 平成30年10月2日(火)
午後1:30~午後4:00
- 2 場所 平塚市役所本館 304会議室
- 3 出席者 委員(欠席1名、代理出席3名)
石黒委員、井上委員、原田委員、宮本委員、
岩本委員、鳥海委員、和田委員、小林委員、
竹腰委員、梶田委員、藤田委員、中村委員、
今井委員、津田委員、小林委員、小山田委員、
佐野委員、中島委員、
仲手川氏(代理)、露木氏(代理)、福島氏(代理)
平塚市
市川課長、曾我担当長、担当2名、委託業者4名
- 4 会議の成立 平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項
に基づき、委員の過半数の出席により成立
- 5 傍聴者 3名
- 6 議事 (1)市民アンケート調査結果について
(2)平塚市地域公共交通網形成計画(素案)
たたき台について
(3)追加調査について
(4)その他

(開会 13時30分)

会 長 それでは、第2回平塚市地域公共交通活性化協議会を始めさせていただきます。先ず、第1回協議会においては、皆様より市民アンケート調査に対するご意見を頂き、無事調査を終えることができました。議事(1)「市民アンケート調査結果について」、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 (資料1について説明)

会 長 市民アンケート調査結果の概要をご説明いただきました。これに関して何かご意見・ご質問はございますか。

(質問等なし)

会 長 アンケート回答者は、市の男女比、年齢、属性などの割合に概ね沿っているのでしょうか。

事務局 アンケート回答者の割合は、市の男女比、年齢に概ね沿っており、偏りなく市全体のデータが集まっています。

- 会 長 議事(2)「平塚市地域公共交通網形成計画(素案)たたき台について」、先ほどのアンケート調査結果を踏まえ、資料の説明をお願いいたします。
- 事務局 (資料2について説明)
- 会 長 資料2につきまして、何かご質問・ご意見等あればお願いいたします。
- 委 員 土地利用状況について、p9の本文とp10のグラフ中とで数値が異なります。
- 事務局 正しい数値を確認します。
- 委 員 同じくp9の土地利用状況について、「道路整備が進展している」とは具体的にどこを指していますか。p8の市域南部という表現がありますが、平塚市は大磯丘陵と東海大学がある丘陵、岡崎の丘陵以外は平坦であるので、表現に工夫が必要だと思います。南部という表現が、資料中において何回か出てきますが、ページによって指している地域が違うため、表現の工夫が必要ではないかと思います。
- 事務局 道路整備は、主に国道134号の4車線化を指しています。南部については、地域名の表示をするなど検討します。
- 委 員 国道134号の4車線化は新規路線の整備ではないため、道路整備の表現は検討して頂きたいと思います。
- 委 員 p13の各地域の概況について、東部地域(大野地区)では、地区内の工場が相模川沿いの大規模な工業系施設だけではなく、工業団地ではありませんが、大野地区の大島明石線沿いにも工場が集積しており、それらの工場の従業員がバスをよく利用しています。

表現を検討していただければと思います。

事務局 文言の表現については、精査します。

委員 同じく、p13 表 2.1、p14、表 2.2 において、各地域の概況に書かれている事業・計画等に関して、具体的な年次を記載した方がよいのではないのでしょうか。

事務局 記載できる年次は追記します。

会長 p7 図 1.4、p11 図 2.4 には、縮尺を追記いただきたいです。

事務局 追記いたします。

委員 p20 の「東海大学前駅利用者の発着地の割合」のグラフに関して、東海大学前駅までどういった交通手段を使っているか教えていただきたいです。

事務局 東海大学駅前までのアクセス手段は、パーソントリップ調査データの集計を行い、次回までに確認します。

委員 同じく p20 の「東海大学前駅利用者の発着地の割合」のグラフに関して、「平塚市が発着地（55%）」、「平塚市外が発着地（45%）」となっています。実感になりますが、東海大学前駅利用者（東海大学の学生など）は、平塚市外からの利用が多いのではないのでしょうか。

事務局 「平塚市が発着地」は、平塚市を発地または着地とする動きになります。そのため、東海大学の学生は、「平塚市が発着地」に含まれています。こちらについては、わかりやすい表現を検討します。

- 委員 p22 のタクシーの現況について、平塚市のタクシー利用者が、平塚駅北口・南口・西口や東海大学前駅など、どこから乗降しているかを分析することは可能でしょうか。
- 委員 それは難しいのではないのでしょうか。
- 委員 同じくタクシーの現況については、p22 図 3.3 において、平塚市の数値の中に、平塚市以外で乗車して、平塚市に訪れる人数も含まれていますか。
- 事務局 含まれています。
- 会長 その他移動支援策については、p23 表 3.2 において、各取組みの利用状況等の具体的な数値がわかるものはありますか？また、スクールバスは運行されているのでしょうか。
- 事務局 利用状況は、わかる範囲になりますが確認します。具体の数値を資料に記載するかどうかも含めて検討します。スクールバスについても、状況を確認するとともに、資料に記載するか検討します。
- 委員 平塚市に関連する路線バス利用の状況については、p26 の P O I N T 欄に記述されている「つながりが強い」という主観的な表現が気になります。他ページと比べても書きぶりが異なっているかと思われま。
- 事務局 平塚市と厚木市間の路線バスによるトリップ数が多い点から「つながりが強い」と記述しましたが、表現方法については検討します。
- 委員 移動の話だけではなく、平塚駅前のバリアフリー等、施設の使いやすさについても考慮すべきではないのでしょうか。

- 事務局 平塚市バリアフリー推進協議会にて駅周辺のバリアフリー化の推進を別途行なっており、その内容をこの網形成計画にどのように取り込めるか検討を行います。
- 委員 p40 の地域公共交通に対する要望について、表 4.3 の「その他」の意味が、総合交通計画で示されている交通施策のカテゴリにおける「その他施策」か、あるいは広義での「その他施策」ということか注釈を入れた方がよいと思います。
- 事務局 広義での「その他施策」という意味ですので、表現については検討します。
- 委員 p34 の交通空白地域および交通不便地域について、市街化調整区域におけるバス停勢圏を 650m に設定した根拠はございますか？また、高低差等についても考慮すべきではないでしょうか。
- 事務局 「駅・バス停の利用圏域からみた交通空白地域・不便地域の状況図」は、あくまで目安になります。バス停勢圏は今回のアンケートを踏まえて設定しており、高低差は考慮していません。ご意見を踏まえて、バス利用圏域については、今後検討を行います。
- 委員 p39 の地域公共交通に対する要望について、アンケート調査で、交通施策として「重要なもの」を聞いているが、本文中では「要望」、「求められている」と表現されており、意味合いが違うように思います。書きぶりには留意していただければと思います。
- 事務局 表現については、検討します。
- 委員 p27 の市民生活における移動実態について、代表的手段は、最も移動距離が長いものということですが、人によって捉え方が異なる恐れがあるのではないのでしょうか。全交通手段を把握する必要が

あると思われます。

事務局 集計自体は全交通手段で可能ですので、傾向をみてどのように記載するか検討します。

会 長 平塚駅のバリアフリーに関して、先ほどご意見もありましたが、鉄道事業者さんから何かご意見ご要望はございますか。

委 員 駅のバリアフリー化に関しては完了しています。

委 員 地域公共交通に対する市民のニーズについては、p27～31の集計で、どの交通手段で不便を感じているか、またどのような理由で不便と感じているかが分かりません。クロス集計を行わないと課題が見えてこないのではないのでしょうか。

事務局 クロス集計は可能ですが、サンプル数の問題もございますので、集計方法については検討します。

会 長 市民生活における移動実態は、p27以降の赤で強調されているデータを中心に細分化して分析するとよいかと思われます。

委 員 観光の視点も入れた方がよいのではないのでしょうか。

事務局 観光の視点についても検討します。

委 員 p42では4章で分析した交通空白地域があまり反映されていないように感じます。p44で整理されている、地域の現状・交通環境における課題と留意点について、地域公共交通網形成計画を作成する上では、地区ごとの交通課題が重要であるので、課題整理はきめ細やかに充実させるとよいかと思います。

- 事務局 今回は、地区別の状況を踏まえて市域全体の課題として取りまと
めています。
- 委 員 p42 で地区別の課題が一目でわかるような整理をしてはどうでし
ょうか。多くのデータがあるので 1 枚にまとめた表等があるとわ
かりやすいと思います。
- 事務局 まとめ方について検討します。
- 委 員 p14 の地域医療福祉拠点整備モデル地区の検討を進めるなかで、
地域内での移動に関する要望が強くなっています。自家用車依存
からの転換のなかで、地域内での移動や高齢者の足の確保等につ
いて考えていかなければならないと思います。
- 事務局 高齢化社会や移動制約者への対応について、p45 6-1 で示してい
ますので、今後、実施事業の中で具体的な施策を整理する予定で
す。
- 委 員 p45 において、6-1(2) を達成することとあわせて(4) を達成
できるように、福祉部も連携して検討していきたいと思います。
- 委 員 p35 において、交通空白地域・交通不便地域が点在していますが、
現段階で検討している対応策はありますか。
- 事務局 今後、実施事業の中で整理する予定です。
- 委 員 地域公共交通網形成の基本方針については、外部要因について、
p45 の 6-1 以降で少し考慮すべきではないでしょうか。例えば真田
北金目や神奈川大学移転後のバス事業の在り方などを、今後の地
域公共交通の基本方針に考え方を盛り込む方がよいと思います。

- 事務局 p14 で記載しているのですが、p45 6-1 でどのように記載できるか検討します。
- 委員 同じく地域公共交通網形成の基本方針について、p45 で自家用車依存への脱却が必要と書かれていますが、前段の文章から読み取ることができないため、「脱却が重要」という表現が唐突と感じます。高齢者だけでなく、他の世代も含めた脱却であれば説明が必要と考えられます。
- 事務局 高齢化社会や移動制約者への対応という意味もこめて記載しています。書き方については検討します。
- 委員 （前質問に関連して）圏央道開通に伴って、国道 129 号の渋滞や事故が増加しています。必要であればデータ提供は可能です。
- 委員 アンケートについては、すべての設問を地区別・年齢別に集計した方がわかりやすいのではないのでしょうか。分析結果は一覧にした方がわかりやすいかと思います。
- 事務局 今回の資料以外にも地区別・年齢別に集計していますが、特に傾向が見られなかったため、省略しています。すべてのデータを掲載するかは検討いたします。
- 委員 p35 交通空白地域・不便地域について、バス停勢圏を市街化区域 350m、市街化調整区域を 650m とわけているが、全て 650m で統一してはどうでしょうか。
- 事務局 バス停勢圏の定義について、再整理します。
- 委員 課題の整理について、バスの定時性に関する記述も重要になりますので、追加して頂きたいと思います。

事務局 検討します。

委員 免許の返納率の状況は、どうなっていますか。

委員 平塚警察署に返納する免許数は、増加傾向にあります。

(資料2の質疑応答終わり)

会長 資料3について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 (資料3について説明)

会長 資料3につきまして、何かご質問・ご意見等あればお願いいたします。

委員 平塚市外から流入する学生も多いので、学生を対象にアンケート調査を実施してはどうでしょうか。例えば、高校に対して、アンケート調査を実施してはどうでしょうか。

委員 高校生は3年間で卒業してしまうので、学校に対して調査を行っているところもあります。

事務局 学生個人ではなく、学校に対して調査を行うか検討します。内容は、他のアンケートと同様のものを検討します。

委員 アンケート調査では、市外からの買い物客を把握していますか。

事務局 買い物客については把握していませんが、市外からの来訪者ということで、事業所向けアンケートで把握しようと考えています。

会長 市外からの買い物客はパーソントリップデータも確認して、検討

いただければと思います。

委員 アンケート調査票にて、「公共交通機関」ではなく、「公共交通」という書き方にすることで、回答者から幅広い回答を得ることができるのではないのでしょうか。

事務局 書き方については検討します。

委員 土沢地区は住民にアンケートを既にとっていますので、福祉部と連携して進めていただきたいと思います。

事務局 アンケートにつきましては、本日ご意見頂いたものを修正し、会長と調整させていただき、なるべく早期に実施したいと思います。また、高校に対するアンケートについては、内容を会長と調整させていただき、市内の高校に調査する方向で進めたいと思います。

(資料3、資料3別紙1～4の質疑応答終わり)

会長 ありがとうございます。では、議事(4)その他について、事務局からございませんでしょうか。

事務局 先ほど、課題のなかでまちづくりが進んでいるツインシティ大神地区への公共交通確保のご説明をしました。現在、大神方面のバス路線については、本厚木駅行があることから、次回の会議から厚木市にオブザーバーとしてご参加いただくことをご提案いたします。また、次回の会議は12月中下旬を予定しております。

委員 東海大学前駅と真田地区の関連性は大きく、次回協議会に厚木市だけでなく秦野市もオブザーバーとして参加していただいてはどうでしょうか。

事務局 秦野市に対して、オブザーバーとして参加をしていただくよう、今後調整します。

会 長 他にないようでしたら、会議を終了させていただきます。それでは事務局にお返しいたします。

事務局 長時間にわたりますご審議、どうもありがとうございました。本日いただいたご意見を参考にしまして、6章以降を検討して参ります。それでは以上をもちまして、平成30年度第2回平塚市地域公共交通活性化協議会を閉会とさせていただきたいと思えます。みなさまご協力ありがとうございました。

(開会 16時00分)